



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社
 コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,230	2.3	311	—	307	—	273	—
2020年3月期第2四半期	11,952	△25.2	△553	—	△622	—	△710	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 256百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △776百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	30.16	29.93
2020年3月期第2四半期	△78.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	39,511	14,255	35.5
2020年3月期	39,135	14,065	35.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,011百万円 2020年3月期 13,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日（2020年11月13日）公表いたしました、「剰余金の配当に関するお知らせ」及び「連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	23.2	800	—	700	—	500	—	55.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,758,947株	2020年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	672,204株	2020年3月期	702,714株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	9,064,456株	2020年3月期2Q	9,023,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の影響により急激に減速した後、経済活動の再開を受け、国・地域による濃淡はあるものの、総じて緩やかに持ち直しつつありますが、先行きについては極めて不透明な状況となっております。

当社の属する業界につきましては、FPD業界は、主な市場である中国において都市封鎖等により生産計画が停滞しました。その後経済活動の再開に伴い一定の制約の中で渡航が可能となり、現地における活動が徐々に持ち直しつつあります。半導体業界におきましては、急激に落ち込んだ車載機器に持ち直しの兆しが見えるほか、新しい行動様式に対応した在宅勤務関連や、5G、AI、IoT関連の需要が見込まれております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高122億30百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益3億11百万円（前年同四半期は営業損失5億53百万円）、経常利益3億7百万円（前年同四半期は経常損失6億22百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億10百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(メカトロニクス関連事業)

世界的な経済活動再開の動きにより、総じて弱いながらも回復基調で推移しました。パワーデバイス向けレーザーアニラ及びスマートフォン向けテーピング装置が好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は51億32百万円（前年同四半期比20.1%増）となり、セグメント利益は2億81百万円（同257.6%増）となりました。

(ディスプレイ関連事業)

主な市場である中国の経済活動再開に伴い、停滞していた顧客の生産計画が徐々に動き始めました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は36億69百万円（同4.2%増）となり、セグメント損失は87百万円（前年同四半期はセグメント損失5億66百万円）となりました。

(産業機器関連事業)

国内向けクリーニング市場は、営業自粛や在宅勤務化の影響を受けました。中国を中心として展開している海外向けにつきましても同様で、国内、海外とも大変厳しい環境となりました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は4億8百万円（同56.9%減）となり、セグメント損失は78百万円（前年同四半期はセグメント損失13百万円）となりました。

(電子機器関連事業)

電力会社向け及び人工透析装置が、引き続き安定的に推移しました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は30億19百万円（同6.0%減）となり、セグメント利益は79百万円（前年同四半期はセグメント損失98百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は309億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金25億85百万円であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金13億71百万円、仕掛品6億35百万円であります。固定資産は85億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。主な減少要因はのれん59百万円であります。その結果、総資産は395億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億76百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は190億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億63百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金26億16百万円、前受金1億23百万円であり、主な減少要因は支払手形及び買掛金12億37百万円であります。固定負債は62億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億77百万円減少しました。主な減少要因は長期借入金12億76百万円であります。その結果、負債は252億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は142億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加しました。その結果、自己資本比率は35.5%となり、1株当たり純資産は1,541円96銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績(通期)予想については、新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループの企業活動に大幅な制約を受け予測困難な事態が続きましたが、当第2四半期連結累計期間の業績、半導体業界を中心に5G通信関連、AI、IoT等の需要の拡大が見込まれる状況、そして現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものです。そして、その予想に基づいて配当予想を行っております。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、新型コロナウイルス感染症の収束時期、国内外の経済環境の変化等により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は適時開示にてお知らせいたします。

詳細は、本日公表の「連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,531	9,116
受取手形及び売掛金	12,469	11,098
有価証券	0	0
商品及び製品	1,073	1,111
仕掛品	8,341	7,706
原材料及び貯蔵品	1,423	1,439
その他	859	555
貸倒引当金	△148	△70
流動資産合計	30,552	30,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,165	5,050
減価償却累計額	△3,206	△3,143
建物及び構築物(純額)	1,959	1,906
機械装置及び運搬具	2,202	2,357
減価償却累計額	△1,739	△1,802
機械装置及び運搬具(純額)	462	555
工具、器具及び備品	3,483	3,535
減価償却累計額	△3,067	△3,138
工具、器具及び備品(純額)	415	397
土地	3,610	3,597
リース資産	264	264
減価償却累計額	△111	△124
リース資産(純額)	153	140
建設仮勘定	157	183
有形固定資産合計	6,759	6,779
無形固定資産		
のれん	299	239
ソフトウェア	80	72
リース資産	44	37
電話加入権	20	20
その他	5	12
無形固定資産合計	450	382
投資その他の資産		
投資有価証券	393	407
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	781	790
長期滞留債権等	188	188
その他	221	217
貸倒引当金	△213	△213
投資その他の資産合計	1,373	1,391
固定資産合計	8,583	8,553
資産合計	39,135	39,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754	4,517
短期借入金	8,322	10,939
リース債務	66	60
未払法人税等	—	121
賞与引当金	363	354
製品保証引当金	82	57
未払費用	404	351
前受金	1,603	1,726
1年内償還予定の社債	700	700
その他	148	181
流動負債合計	17,446	19,009
固定負債		
長期借入金	5,439	4,162
長期末払金	81	77
リース債務	158	138
繰延税金負債	96	89
退職給付に係る負債	1,160	1,162
資産除去債務	63	49
事業整理損失引当金	592	537
その他	30	28
固定負債合計	7,623	6,246
負債合計	25,070	25,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,635	3,633
利益剰余金	8,296	8,479
自己株式	△600	△574
株主資本合計	14,132	14,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	△21
為替換算調整勘定	△298	△317
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	△314	△328
新株予約権	51	51
非支配株主持分	195	192
純資産合計	14,065	14,255
負債純資産合計	39,135	39,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,952	12,230
売上原価	10,128	9,790
売上総利益	1,824	2,440
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	878	908
賞与引当金繰入額	91	73
福利厚生費	37	35
賃借料	86	98
業務委託費	90	56
研究開発費	244	211
減価償却費	96	87
その他	853	657
販売費及び一般管理費合計	2,378	2,128
営業利益又は営業損失(△)	△553	311
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	21	38
受取賃貸料	6	8
その他	33	46
営業外収益合計	68	98
営業外費用		
支払利息	45	51
為替差損	56	23
その他	35	28
営業外費用合計	137	102
経常利益又は経常損失(△)	△622	307
特別利益		
固定資産売却益	0	43
投資有価証券売却益	28	—
その他	0	4
特別利益合計	29	47
特別損失		
固定資産除売却損	1	3
子会社清算損	20	—
事業構造改善費用	18	—
その他	4	0
特別損失合計	44	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△636	350
法人税、住民税及び事業税	20	96
法人税等調整額	67	△17
法人税等合計	87	79
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△724	270
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△710	273

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△724	270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	6
為替換算調整勘定	△20	△19
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	△52	△13
四半期包括利益	△776	256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△762	259
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	4,272	3,521	947	3,211	11,952	—	11,952
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	2	—	3	6	△6	—
計	4,273	3,523	947	3,215	11,959	△6	11,952
セグメント利益 又は損失(△)	78	△566	△13	△98	△600	46	△553

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額46百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等429百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△383百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	5,132	3,669	408	3,019	12,230	—	12,230
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2	—	2	5	△5	—
計	5,132	3,672	408	3,022	12,236	△5	12,230
セグメント利益 又は損失(△)	281	△87	△78	79	195	116	311

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額116百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等454百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△338百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。